

「錦江湾高等学校の一日遠足での文化財探訪の取組」

1 学校名

鹿児島県立錦江湾高等学校

2 学年・人数

1年 240人 2年 231人 3年 224人

3 日時・場所

一日遠足 平成31年4月19日（金）

1年 錦江湾洋上体験

2年 知覧武家屋敷群 知覧平和公園 知覧特攻平和会館など

3年 上野原縄文の森 県立埋蔵文化財センター

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 錦江湾

鹿児島の4大カルデラ（始良・阿多カルデラ等）の中で100万年前以降にマグマが上昇後に開いて沈降し、錦江湾が誕生した。霧島市国分辺り（約80～40万年前）や鹿児島市（12.5万年前）も海だった。桜島の大正噴火が象徴するように日本の活火山の10%が鹿児島にあり、そうした火山活動により湾奥の火山性ガスはレアメタルの性質を持ち、サツマハオリムシのような独自の生物の宝庫がみられる等、錦江湾の豊かな自然がある。

(2) 知覧武家屋敷群

知覧藩主島津久峰時代の武士小路区割りの名残で（約270年前）、昭和56年に国の重要伝統的建造物群保存地区選定。薩摩藩は領地を外城と呼ばれる102の地区に分け、地頭や領主屋敷である御仮屋を中心に麓と呼ばれる武家集落を作り、武士団を分散して統治に当たらせた。

(3) 上野原縄文の森

9500年前の縄文時代の大規模な定住集落跡である国指定遺跡「上野原遺跡」を保存・活用した施設。園内は、縄文時代を学べる展示館や復元集落などの見学エリアと火おこしなど縄文体験ができる体験学習館のある体験エリアの二つに分かれていて、それぞれ当時の森を復元。

5 保存会や地域との連携の具体

1年の洋上体験学習は錦江湾の研究で著名な大木公彦鹿児島大学名誉教授に講師を依頼している。2・3年も例年この地域で一日遠足を行っている。

6 活用の取組の工夫した点

1年は本校SSHの特徴を最初に体験するために普通科・理数科一緒に取り組んでSSHをスタートさせている。2年は一日遠足を行う前に特攻隊のテレビ番組を視聴し、学年全体で毎年千羽鶴を折り特攻隊員への慰霊を行っている。3年は縄文時代の日本人の体験の一つとして火おこし体験を行っている。いずれの学年も単なる見学ではなく、優れた研究者による導きや亡き人への慰霊あるいは体験学習を加えて、実施している。

7 取組の様子



写真は左が1年の洋上学習と水族館での錦江湾の生き物に関する講話，真ん中は2年の知覧特攻平和会館での活動，右は3年の火おこし体験活動。

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

1年の洋上体験学習は生徒・教職員ともSSH校としての本校の最初の体験で，意義深いものとなっている。2・3年も先輩たちから行っている伝統行事でもあり，戦争と平和あるいは古き日本人の有り様を学ぶ貴重な機会となっている。